

国際バカロレアの概要と 主体的な学びを実現する授業

大阪府立水都国際中学校・高等学校
校長 太田晃介



～略歴～

2003年 工学院大学附属中学・高等学校 入職

2004年 同校で専任教諭となる

2018年 学校法人大阪YMCAに入職

公設民営学校開設準備室で勤務

7月 LEGO® Serious Play®資格取得

8月 IB TOKワークショップを受講

12月 IB BioHL Paper3のExaminerになる

2019年 大阪市立水都国際中学校・高等学校 開校

高校教頭として勤務

2022年 府へ移管

大阪府立水都国際中学校・高等学校

2024年 同校 校長に就任



国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。

国際バカロレア（IB：International Baccalaureate）は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、**世界の複雑さを理解**して、そのことに**対処できる生徒**を育成し、生徒に対し、**未来へ責任ある行動**をとるための**態度とスキル**を身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。

現在、認定校に対する**共通カリキュラムの作成**や、**世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格**の授与等を実施しています。

文部科学省IB教育推進コンソーシアム <https://ibconsortium.mext.go.jp/about-ib/>より

「IBの使命」は以下のとおりであり、国際教育プログラムを推進し、発展させることの総体的な目的が示されています。

「国際バカロレア（IB）は、**多様な文化の理解と尊重**の精神を通じて、**より良い、より平和な世界**を築くことに貢献する、**探究心、知識、思いやり**に富んだ**若者の育成**を目的としています。

この目的のため、IBは、**学校や政府、国際機関**と協力しながら、チャレンジに満ちた**国際教育プログラムと厳格な評価の仕組み**の開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、**世界各地で学ぶ児童生徒**に、人がもつ**違いを違いとして理解**し、自分と異なる考えの人々にも**それぞれの正しさがあり得る**と認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって**生涯にわたって学び続ける**よう働きかけています。」

このようにIBプログラムでは、「国際的な視野」をより明確な言葉で定義づける試みと、実践を通じてその理想に近づこうとする努力を、IB認定校の使命の中心として位置づけています。

文部科学省IB教育推進コンソーシアム <https://ibconsortium.mext.go.jp/about-ib/>より

我々日本国民は、たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、**世界の平和と人類の福祉の向上**に貢献することを願うものである。

我々は、この理想を実現するため、**個人の尊厳を重んじ、真理と正義**を希求し、**公共の精神**を尊び、**豊かな人間性と創造性**を備えた人間の育成を期するとともに、**伝統を継承**し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。

ここに、我々は、日本国憲法の本質にのっとり、我が国の未来を切り拓く教育の本質を確立し、その振興を図るため、この法律を制定する。

第一章 教育の目的及び理念（教育の目的）

第一条 教育は、**人格の完成**を目指し、**平和で民主的な国家及び社会の形成者**として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

文部科学省「[教育基本法](#)」より抜粋

学習指導要領とは何か？

全国の**どの地域で教育を受けても、一定の水準の教育**を受けられるようにするため、文部科学省では、学校教育法等に基づき、各学校で教育課程（カリキュラム）を**編成する際の基準**を定めています。これを「学習指導要領」といいます。

「学習指導要領」では、小学校、中学校、高等学校等ごとに、それぞれの教科等の目標や大まかな教育内容を定めています。また、これとは別に、学校教育法施行規則で、例えば小・中学校の教科等の年間の標準授業時数等が定められています。各学校では、この「学習指導要領」や年間の標準授業時数等を踏まえ、**地域や学校の実態に応じて**、教育課程（カリキュラム）を編成しています。

文部科学省サイト [「学習指導要領とは何か？」](#) より

育てたい人物像や資質が、**あまり異なっていない**のに、
IBが良く見える人がいるのはなぜでしょうか？

もしIBのプログラムが優れているというのであれば、
なぜ**世界中**でIB校がだらけにならないのでしょうか？

160か国/196か国 5800校/約2,000,000校(小中高)

(世界の国と学校数は2020年UNESCOより)

日本のIB教育の普及について

「日本再興戦略」 2013年 6 月

「グローバル化に対応した教育を牽引する学校群の形成」を目的に日本国内のIB認定校の増加をめざす

「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015改訂版）」

「国際的に通用する大学入学資格が取得可能な教育プログラム（国際バカロレア）の普及拡大を図り，2020年までに国際バカロレア認定校等を200校以上増やす」

「次世代を担う人材育成に向けて求められる教育改革（2014年）」

日本経済団体連合会がIB認定校の拡大を求める



4つの教育プログラム

PYP (Primary Years Programme) : 精神と身体の両方を発達させることを重視したプログラム。言語の指定なし
3～12歳

MYP (Middle Years Programme) : 青少年に、これまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラム。言語の指定なし
11～16歳

DP (Diploma Programme) : 所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能。
16～19歳
原則として、**英語**、**フランス語**又は**スペイン語**で実施。一部科目は**日本語**で実施
(デュアルランゲージディプロマプログラム：DLDP)



IBCP (Career-related Programme) : 生涯のキャリア形成に役立つスキルの習得を重視したキャリア教育・職業教育に関連したプログラム。
16～19歳
一部科目は、英語、フランス語又はスペイン語で実施。
国内導入校はまだない。



IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野を持つ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキル身に付けます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じて持ち続けます。

知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えにに取り組みます。

考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語や様々な方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

信念を持つ人

私たちは、誠実かつ正直に、公平な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々が持つ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とその結果に責任をもちます。

心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経歴の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見出し、その経験を糧に成長しようと努力します。

思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界をよくするために行動します。

挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考え方や方法を探究します。挑戦と変化に機知に富んだ方法で快活に取り組めます。

バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちが生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えおよび経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクール（IB認定校）が価値を置く人間性を10の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域や社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

10の学習者像

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

探究する人 / INQUIRERS

知識のある人 / KNOWLEDGEABLE

考える人 / THINKERS

コミュニケーションができる人 / COMMUNICATORS

信念を持つ人 / PRINCIPLED

心を開く人 / OPEN-MINDED

思いやりのある人 / CARING

挑戦する人 / RISK-TAKERS

バランスのとれた人 / BALANCED

振り返りができる人 / REFLECTIVE



- 「学習のアプローチ」 5つのスキル

思考スキル

リサーチスキル

コミュニケーションスキル

社会性スキル

自己管理スキル

- 「指導」のアプローチ

探究を基盤とした指導

概念理解に重点を置いた指導

ローカルな文脈と**グローバルな文脈**を

反映した指導

効果的な**チームワークと協働**を

重視する指導

学習への**障壁を取り除いた**指導

評価を取り入れた指導





「学習」のアプローチ

- ・ **思考スキル** (高次の思考スキル)
記憶する・理解する・応用する・分析する・
評価する・創造する
- ・ **コミュニケーションスキル**
口頭・文章で伝える、理解するなど
- ・ **社会性スキル**
協働、対立関係の解消、意思決定など
- ・ **自己管理スキル**
情意スキル：立ち直る力、自己動機づけ、
マインドフルネス
- ・ **リサーチスキル**
リサーチ・情報リテラシー、学問的誠実性



「指導」のアプローチ

- **探究を基盤**とした指導
体験に基づく学習、PBLなど
- **概念理解**に重点を置いた指導
内容・スキル・概念の相互関係
- **地域的文脈**と**グローバルな文脈**を反映
自分自身の経験と周りの世界を関連付ける
- 効果的な**チームワークと協働**を重視する
「学習は社会現象である」という観点
- **個別化**した指導
生徒の多様性に応じて個別化した指導
- **評価**を取り入れた指導
形成的評価・総括的評価



IBディプロマプログラムの評価について

45点満点中、24点でIBディプロマ取得

※細かい条件有

- ・ DP科目各**7点**×**6科目**=**42点**
- ・ コア科目（TOKとEE）加**点**=**3点**



平均点は30点前後・取得率は7～8割

《6科目》

- | | | |
|---------|--------|---------|
| ・ 言語と文学 | ・ 習得言語 | ・ 個人と社会 |
| ・ 理科 | ・ 数学 | ・ 芸術 |

《コア科目》

TOK・EE・CAS、
CASはスコアはつかないが、**必須**。



IBディプロマプログラムの評価について

1. **Final Exams**（外部評価）：70～80%

- ・ 世界共通試験を受験（高3：11月）
- ・ IBの試験官が採点

2. **Internal Assessment**（内部評価）：20～30%

- ・ 評価内容は各科目ごとに設定
- ・ 担当教員が採点后、DPCを通じてIBに提出

IBDP教科グループ	HL	SL
1 言語と文学（母語）	Paper 1（135分） Paper 2（105分）	Paper 1（75分） Paper 2（105分）
2 言語習得（外国語）	Paper 1（90分） Paper 2（120分）	Paper 1（75分） Paper 2（105分）
3 個人と社会 （科目による）	歴史の場合 Paper 1（60分） Paper 2（90分） Paper 3（150分）	歴史の場合 Paper 1（60分） Paper 2（90分）
4 理科	Paper 1（60分） Paper 2（135分） Paper 3（75分）	Paper 1（45分） Paper 2（75分） Paper 3（60分）
5 数学	Paper 1（120分） Paper 2（120分） Paper 3（60分）	Paper 1（90分） Paper 2（90分）
6 芸術 （科目による）	音楽はPaper 1（150分） 最終試験がない科目もあり	音楽はPaper 1（120分） 最終試験がない科目もあり

最終試験はどのような問題？

言語と文学 (Language A) Paper1

テキスト内の視覚表現と言語表現は、メッセージに**どのような効果**をもたらしているか説明しなさい。(1時間15分)

考察ポイント

- ・レイアウト、配置、図 (視覚表現)
- ・フォントの種類、サイズ、色
- ・言語表現など

これらが、メッセージをどのように伝えているか、伝わってくるか、作成者の意図は、などを考察。授業では、議論する。

1. 次の課題文の設問に対する分析を書きなさい。
2. 次のイラストは、新聞の全面を使った広告である。

8821-2028

Turn over / Tournez la page / Vasez

www.mhi.co.jp

三菱重工
この星に、たしかな未来を

テキスト内の視覚表現と言語表現は、メッセージにどのような効果をもたらしているか説明しなさい。

最終試験はどのような問題？

習得言語 (EnglishB)

The youth magazine that you work for is running a competition to find “The Teenage Journalist of the Year”. You have been asked to inform the readers of the magazine about how the competition will work. Write a text in which you present the task that the journalists must undertake, set out the rules they must follow and explain how their performance will be evaluated. (1.5 hours)

（あなたの勤める青年誌が、「ティーンエイジ・ジャーナリスト・オブ・ザ・イヤー」を決めるコンペを開催します。あなたは雑誌の読者に、このコンテストがどのように行われるかを知らせるよう頼まれました。記者に課される課題を提示し、彼らが守らなければならないルールを定め、彼らのパフォーマンスがどのように評価されるかを説明する文章を書きなさい（1.5時間）。）

最終試験はどのような問題？
個人と社会（歴史）

例1

技術開発は、20世紀の戦争の結果を左右した要因ではない。2つの戦争を取り上げ、この主張について論じなさい。（Paper 2）

例2

異なる地域の2つの戦争を取り上げ、その戦争が勃発した原因としての宗教の重要性について論じなさい。（Paper 3）

考察ポイント

- ・ 2つの戦争について深い理解が必要。因果関係、戦術、技術力・宗教など。
- ・ 1つの戦争においても、各国の資料を用いたり、複数の文献が必要。
- ・ 歴史の扱う範囲は、主に第1次大戦以降

最終試験はどのような問題？

TOK 知の理論

所定課題 （半年前に6つお題が出され、そのうちの1つを選び書く。）

「計測可能なものは計測し、計測可能でないものは計測できるようにせよ」（ガリレオ・ガリレイ）。この格言にどの程度同意するかを人間科学とさらにもう1つの「知識の領域」に言及しながら答えなさい。 2022年11月
（フォントサイズ12、日本語で書く場合は、3200字）

考察ポイント

所定課題の紐解きが重要

- ・ 計測とは？ ・ どんなものが計測可能で、どんなものが計測可能でないか
- ・ どの程度同意するか。 100%同意、100%反対、ある程度同意 の3択
- ・ 2つの知識の領域 人間科学ともう1つ(自分で選ぶ)
- ・ 流れの例：定義⇒同意する例⇒反論や反対の例⇒反対の例を考慮しつつ程度同意

- **スキルや技術の獲得も必要とされる**（知識はもちろん）

例：理科の内部評価は簡単な研究を行う

- 知識の詰め込みもあるが、知識を持っている前提。

⇒知識から、**抽象化**、**一般化**、**概念理解**につなげる

具体と抽象の往復、知識の構造化、メタ認知

⇒**知識を得るのではなく、学び方を体得して行く**

自分で調べたり、つなげていくことが好きな生徒、得意な生徒には合っている学び方。

一方、ある程度受け身で知識を身に着けてからのほうが、考えやすい生徒にはあまり向かない。

学び方の違いー学びの選択肢としてとらえる